

おばけえびの飼育 小野澤司

*取り組んだ理由:ずいぶんまえに本屋さんで飼育セットを見て、欲しいと思っていた。実物を見てみたかった。

*用意するもの:飼育ケース、空気ポンプ、海の水のもと(塩)、おばけえびの卵、おばけえびのえさ

*手順

①飼育ケースを水で洗い、水と海の水のもとを入れて、よく混ぜて一日置いておく。

一日置くのは水道水に含まれる残留塩素(カルキ)を抜くため

②卵を一振りだけいれる。直射日光の当たらない明るい場所におく。

③卵がかえったらエサをやる。3日にいちどくらい。

④空気ポンプで毎日空気を送ってあげる。

*観察

・卵を振り入れた次の日には、すごくいっぱいのおばけえびが誕生した

・少しずつ大きくなって、数は減った

・エサをやりすぎて水が汚れたのか、全滅してしまった・・・(手順②からやりなおし)

・二回目は三匹くらい元気に育った

・小さい頃はオレンジ色っぽく見えた

・背泳ぎをしたり、くるくる回って泳いでいる

・おとなはたくさんの足を下から上のほうへ順番にあげて、次に上から下に動かして泳ぐ

*調べたこと

・おばけえびの正式名称は「アルテミア」で、カブトガニ・ミジンコなどの仲間

・塩水にすむプランクトンで、あしにエラ(鰓)があるから「鰓脚類」(さいきやくるい)という

・からからに乾燥した状態の卵でも死なないので、恐竜が生きていた(約8500万年前)から姿を変えていない生きた化石と呼ばれている

*感想

最初は全滅して悲しかった。二回目はもっと気を付けて大事に育てて、おとなになって嬉しかった

卵がからからになっても死なないのはすごいと思った